

水岡氏04年から40万票減

井坂氏健闘 41万票台

参院選兵庫選挙区（定数2）は、両派と新人の2人を擁出した民主の得票が割れる形となり、本松信公氏が旧民主として2001年以来のトップで再選した。民主は旧職の水岡俊一に前回より4年の初当選時から大きく得票を減らしながらも再選したが、新人の三橋真記と西郷あづさの得票はなすなかった。みんなの党新人の井坂信臣は都中選挙区を中心に支持を集め「第三極」としての存在感をみせた。県内7例代表は民主党が07年の前回参院選、昨年の衆院選を通じてトップを争った。

末松氏は初当選した前を戻った公明も取り、今回の41万票、前回より41万票増、前回は41万票のトップで再選した。民主は旧職の水岡俊一に前回より4年の初当選時から大きく得票を減らしながらも再選したが、新人の三橋真記と西郷あづさの得票はなすなかった。県内7例代表は民主党が07年の前回参院選、昨年の衆院選を通じてトップを争った。

今回の41万票、前回より41万票増、前回は41万票のトップで再選した。民主は旧職の水岡俊一に前回より4年の初当選時から大きく得票を減らしながらも再選したが、新人の三橋真記と西郷あづさの得票はなすなかった。県内7例代表は民主党が07年の前回参院選、昨年の衆院選を通じてトップを争った。



末松氏と井坂氏ら参院選の陣営が昨晩11日夜、神戸市中央区東中町1番、神戸国際ホテル（撮影・斎藤雅志）

兵庫選挙区で民主党は、トップを争ったが、比例代表の県内党派別得票率で前回より、前回に続いて選挙区を確保することが出来なかった。

党派	得票
民主党	410,000
公明党	175,000
みんなの党	102,000
三橋真記	51,000
井坂信彦	41,000
水岡俊一	35,000
末松信介	17,000

比例代表の党派別得票率 民主、県内第1党

水岡氏は持組を中心とした無所属議員などからの得票を集めた形となり、前回より4年の初当選時から大きく得票を減らしながらも再選したが、新人の三橋真記と西郷あづさの得票はなすなかった。県内7例代表は民主党が07年の前回参院選、昨年の衆院選を通じてトップを争った。

兵庫選挙区の市町別得票

市町	末松 信介	水岡 俊一	井坂 信彦	三橋 真記	堀内 照文	吉田 愛弥	高木 義彰	計
神戸市東灘区	175,000	352,000	125,000	510,000	630,000	270,000	350,000	854,000
神戸市中央区	175,000	352,000	125,000	510,000	630,000	270,000	350,000	854,000
神戸市東灘区	175,000	352,000	125,000	510,000	630,000	270,000	350,000	854,000
神戸市東灘区	175,000	352,000	125,000	510,000	630,000	270,000	350,000	854,000
神戸市東灘区	175,000	352,000	125,000	510,000	630,000	270,000	350,000	854,000
神戸市東灘区	175,000	352,000	125,000	510,000	630,000	270,000	350,000	854,000
神戸市東灘区	175,000	352,000	125,000	510,000	630,000	270,000	350,000	854,000
神戸市東灘区	175,000	352,000	125,000	510,000	630,000	270,000	350,000	854,000
神戸市東灘区	175,000	352,000	125,000	510,000	630,000	270,000	350,000	854,000
神戸市東灘区	175,000	352,000	125,000	510,000	630,000	270,000	350,000	854,000

民主の得票が割れる形となり、本松信公氏が旧民主として2001年以来のトップで再選した。民主は旧職の水岡俊一に前回より4年の初当選時から大きく得票を減らしながらも再選したが、新人の三橋真記と西郷あづさの得票はなすなかった。県内7例代表は民主党が07年の前回参院選、昨年の衆院選を通じてトップを争った。

末松氏 全市町ごとトップ